

# 要望書

国道 34 号大村諫早拡幅の整備促進を目指そう!!



国道 34 号大村・諫早間整備促進期成会

# 国道34号大村・諫早間整備促進期成会

## 会員名簿

	職 名	氏 名
会長	大村市長	園田 裕史
副会長	諫早市長	大久保 潔重
"	大村市議会 議長	小林 史政
"	諫早市議会 議長	北島 守幸
"	大村商工会議所 会頭	中村 人久
"	諫早商工会議所 会頭	永江 正澄
監事	大村市タクシー協会 会長	酒井 辰郎
"	(一社)諫早観光物産コンベンション協会 会長	酒井 明仁
会員	長崎県央農業協同組合 代表理事組合長	里山 耕治
"	長崎県トラック協会 大村支部長	村里 宏治
"	長崎県トラック協会 諫早支部長	本田 高大
"	諫早市タクシー協会 会長	永尾 典嗣
"	(一社)大村市観光コンベンション協会 会長	酒井 辰郎
"	(一社)大村市物産振興協会 会長	伊瀬 浩三
"	長崎空港ビルディング(株) 代表取締役社長	衛藤 勇

## 顧問名簿

	職 名	氏 名
顧問	衆議院議員	山田 勝彦
"	参議院議員	古賀 友一郎
"	参議院議員	山本 啓介
"	長崎県議会議員	小林 克敏
"	長崎県議会議員	松本 洋介
"	長崎県議会議員	まきやま 大和
"	長崎県議会議員	山口 初實
"	長崎県議会議員	千住 良治
"	長崎県議会議員	坂口 慎一
"	長崎県議会議員	山村 健志

落葉の候 貴台におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より大村市・諫早市の道路行政全般に関し、格別のご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

大村市・諫早市は、長崎県の中央に位置し、長崎空港や長崎自動車道インターチェンジ、現在整備中である島原道路を基盤とした高速交通の拠点都市であり、県内の交通の要衝となっております。また、西九州新幹線が令和4年9月に開業し、駅周辺の開発等も相まって今後ますます地域間の交流・連携が促進され、産業・交流都市として更なる飛躍を目指しております。

さて、本期成会の要望項目である、一般国道34号大村諫早拡幅事業につきまして、今年度から中里地区ほかの改良工事が予定されており、早期完成に向け、事業が着実に進められていることに、厚くお礼申し上げます。

また、両市で設置した国道34号大村諫早拡幅推進支援本部を通して長崎河川国道事務所とも情報共有を図り、事業促進に努めております。

昨今の物価高騰等により、両市を含め地域経済に大きな影響が出ており、地域経済の回復が急務であります。

つきましては、県央地域の経済活性化・発展を推進するには、一般国道34号大村諫早拡幅の整備が不可欠であり、整備促進に向け引き続き、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

## 要　　事　　項

- 一 第1次国土強靭化実施中期計画を踏まえた関係予算については、予算編成過程で資材価格等の高騰等の影響を適切に反映し、通常道路予算とは別枠で必要な予算を満額確保することを要望いたします。
- 一 経済成長を着実に進めるため、地方創生や生産性向上に繋がる公共事業について、令和7年度補正予算において、例年を大幅に上回る規模で必要な予算を確保することを要望いたします。
- 一 道路の安全・安心の確保に向け、予算や体制面の支援を充実させ、橋梁、トンネル、舗装などの老朽化対策等を推進することを要望いたします。
- 一 都市や地方の魅力を高めるため、道の駅の地方創生の拠点化の推進や無電柱化、交通安全対策を推進することを要望いたします。
- 一 防災や地方創生など、B/Cだけでは測れない効果も踏まえ、交通量の多寡によらない多様な観点も含めて事業の必要性を適切に評価する仕組みを構築することを要望いたします。
- 一 大規模自然災害に即応するための地方整備局などの体制強化や必要となる資機材の更なる確保について要望いたします。

- 一 地方創生を実現し、日本経済の活力を取り戻すため、資材価格などの上昇に対応する中でも計画的かつ長期安定的な道路整備・管理が進められるよう、新たな財源の創設等により、令和8年度道路関係予算は、所要額を満額確保することについて要望いたします。
- 一 県央地域における物流、観光及び地域経済を支え、他の地域との連携強化や交流人口拡大、社会経済活動の活性化など長崎県全体の発展に寄与する、「一般国道34号大村諫早拡幅の整備促進」について要望いたします。

## 一般国道34号大村諫早拡幅の整備促進について

本県を南北に走る主要幹線道路の一般国道34号は、諫早市側の本野入口交差点改良事業及び大村市側の大村拡幅により、それぞれ4車線化され、渋滞緩和など一定の効果が現れています。

しかしながら、両事業区間を結ぶ大村市与崎から諫早市本野間の4.4kmが2車線のままで、ボトルネックとなっていることから、一日約3万台にもおよぶ交通に対応できず、通勤時間帯を中心に混雑が恒常化しており、交通事故発生時には更なる渋滞が発生するなど、社会・経済活動の支障となっています。さらには、近年全国各地で激甚化する豪雨災害の発生が問題化しており、本事業区間においても、雨水排水対策の重要性が高まっていると認識しております。

本区間は、県央生活圏における交通ネットワークの重要な路線であり、当該区間の整備により、地域間交流が益々促進され、県央地域の更なる発展に大きく貢献するものであります。

本国道が交通・物流による地域経済の活性化にとどまらず、国土強靭化においても極めて重要な役割を担う主要幹線道路であることから、大村諫早拡幅の整備促進について、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

二本松バス停付近状況(大村市側)



花高入口交差点付近状況(諫早市側)



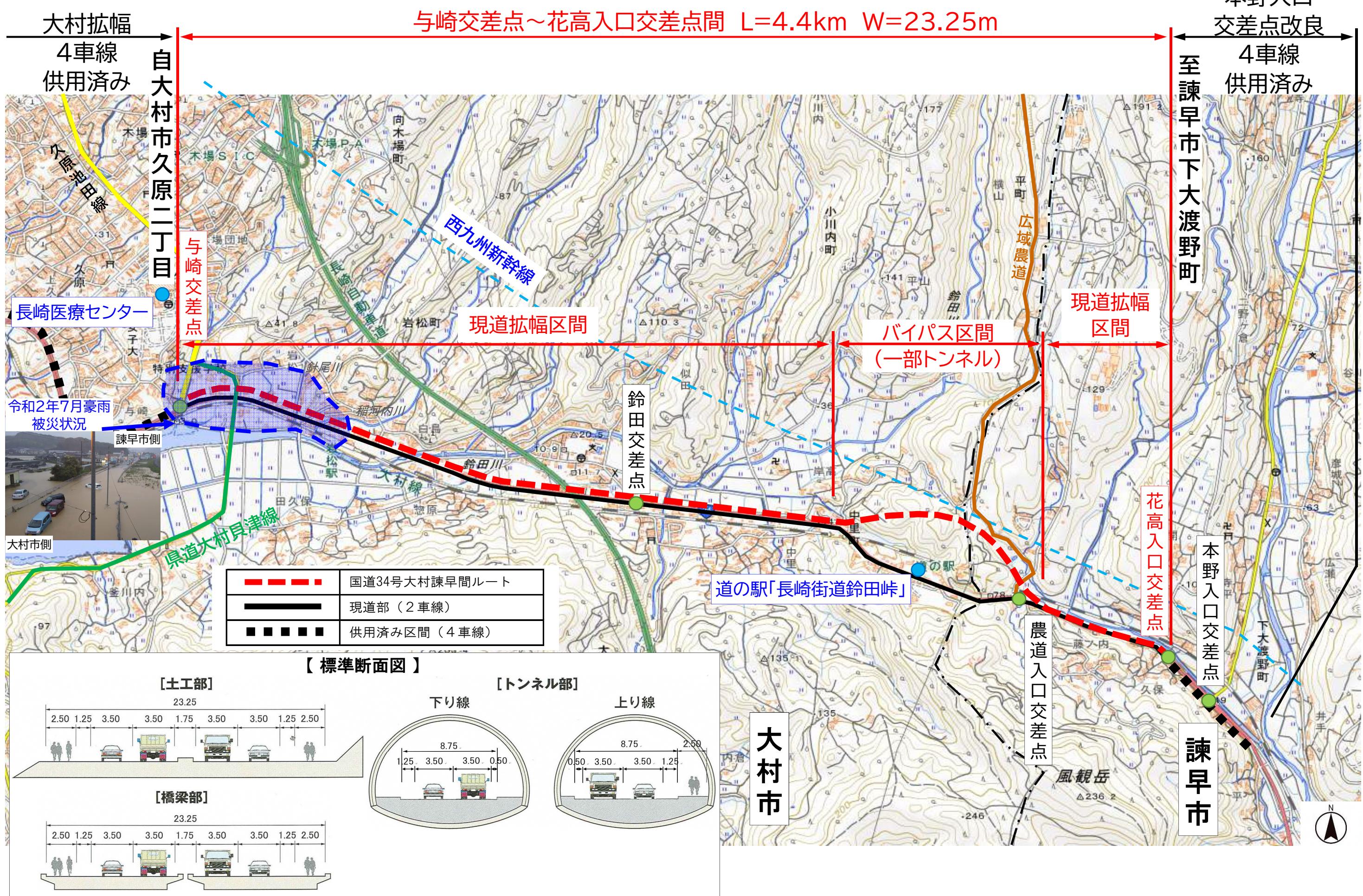
与崎交差点付近冠水状況(令和2年7月)



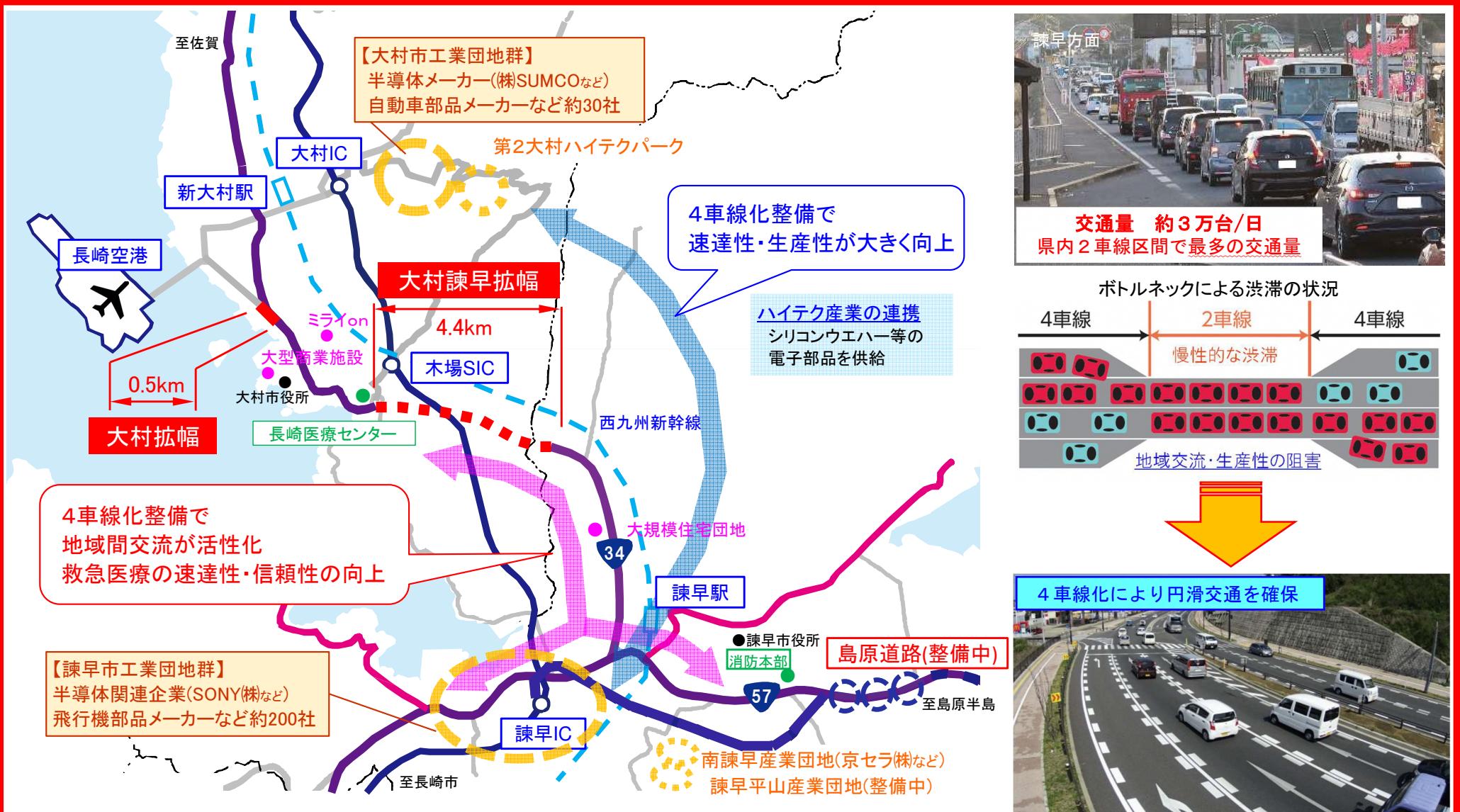
与崎交差点付近事故状況



## 国道34号大村諫早拡幅 要望区間



# 国道34号は長崎県央地域の大動脈



## 地域ポテンシャルをさらに高めて、地域創生へ貢献



## 半導体関連企業の集積化・産業連携強化で地域経済活性化を図り、雇用を創出

